

中期経営計画

Medium-term management plan (2022.4～2025.3)

令和4年3月



名古屋港埠頭株式会社

はじめに

これまでに培ってきた知識や経験、ノウハウを最大限生かしてターミナル等の管理運営を担ってまいります。

当社は、昭和46年の財団法人名古屋港フェリー埠頭公社設立以来、50年に渡り名古屋港のコンテナターミナルやフェリーターミナルの整備・管理運営を担ってまいりました。

平成29年9月、国の施策に対応し、伊勢湾のコンテナターミナル等を一元的・効率的に管理運営する主体として設立された名古屋四日市国際港湾株式会社にコンテナ事業の一部を継承し、当社は利用者への窓口機能などの現場対応機能の強化を図って参りました。

我が国港湾を取り巻く厳しい環境変化に対応し、名古屋港が引き続き「選ばれる港」として発展していくためには、関係者とともにより効率的な管理運営体制を構築していく必要があります。当社は港湾管理者である名古屋港管理組合はもとより名古屋四日市国際港湾株式会社と協力・連携しながら利用者サービスの一層の向上や迅速かつ柔軟な港湾運営に取り組んでまいります。

また、当社がこれまで培ってきた知識や経験、ノウハウを最大限に活かし、コンテナターミナルやフェリーターミナル、シャーシプールの効率的な管理運営と施設を良好に保つための対応を適切に行うことで、お客様のニーズに即した質の高いサービスの安定的提供と一層のコスト低減に努めてまいります。



経営理念

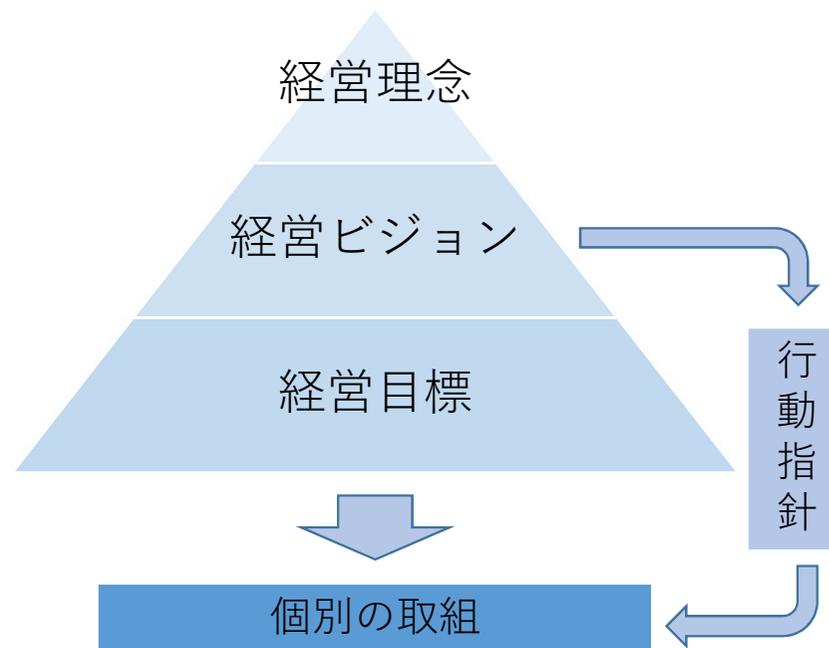
名古屋港埠頭株式会社は、中部圏の経済・産業活動や人々の暮らしを支える信頼の高い港湾インフラシステムの構築により、経済発展や豊かな社会の形成に貢献します。

名古屋港は、自動車、工作機械、航空宇宙産業など、世界的なものづくり産業が集積する中部圏を背後地に抱え、我が国を代表する国際貿易港に成長しています。

名古屋港埠頭株式会社は、中部圏の経済・産業活動や人々の暮らしを支える信頼の高い港湾インフラシステムの構築により、経済発展や豊かな社会の形成に貢献することに全力を尽くしてまいります。

当社は経営理念や経営ビジョンのもと、経営目標を設定し、これを達成するために個別の取組を進めてまいります。また、個別の取組を進める上では、当社の行動指針に従って誠実に行動いたします。

中期経営計画の体系



経営ビジョン

1 お客様が満足するロジスティクスの提供

常にお客様を尊重することを原点とし、お客様が満足するロジスティクスの提供を通じ、地域経済の発展と市民生活の向上に貢献する「信頼される会社」を目指します。

2 コンプライアンス意識の徹底

コンプライアンス意識を徹底し、公正で透明性の高い「公明正大な会社」となります。

3 防災・安全対策の強化

サービスの質と生産性の向上とともに、防災・安全への取り組みに努め、お客様に「安心して選んでいただける会社」を目指します。

4 環境重視の経営の実現

沿岸・海洋環境の保全と利益の創出を両立させることのできる「環境重視の経営を実現する会社」を目指します。

5 物流の革新に貢献

情熱とチャレンジ精神を持って絶えず物流の革新に貢献する「ダイナミックな会社」となります。

6 全社員の生きがいと夢の実現

中部発、日本経済の活力を生み出すリーディングポートとして、「全社員の生きがいと夢を実現する会社」を目指します。

行動指針

「経営理念」のもと、「経営ビジョン」を実現していくために、社員一人ひとりが持つべき心構えや取るべき行動として、以下の8項目を定めています。

- 1 法令等の遵守
- 2 誠実かつ公正・透明な事業活動の徹底
- 3 反社会的勢力の排除
- 4 情報の適正な管理・保護
- 5 安全確保・品質向上、お客様サービスの推進
- 6 環境への取組
- 7 チャレンジ精神
- 8 人権の尊重、活力ある職場づくり

当社を取り巻く環境

海運・港運動向

- ・ コンテナ船の大型化
- ・ 北米欧州基幹航路の寄港減少
- ・ 世界情勢の変化に伴う海上荷動きへの影響
- ・ 脱炭素化への対応
- ・ IoT等の情報通信技術やAI・自動化の進展
- ・ 輸送モードの多様化に伴うフェリー等の活用

経営環境

- ・ SDGs・ESG経営意識の高まりへの意識の高まり
- ・ インフラの老朽化、陳腐化
- ・ 人口減少、産業構造の変化等によるコンテナ貨物量の伸び悩み
- ・ 資材、燃料等の調達コストの増加

自然災害・危機

- ・ 自然災害の激甚化、頻発化
- ・ 感染症の世界規模での拡大
- ・ 臨海部における特定外来生物の侵入

就労環境

- ・ 少子高齢化による労働人口減少
- ・ 働き方改革の進展

持続可能な開発目標（SDGs）への貢献

SDGsは、持続可能な世界を実現するための国際目標であり、2030年までに「経済」「社会」「環境」を統合的に向上させることを目指して、17のゴール（目標）が設定されています。

当社は、事業活動を通じて、SDGsの達成に貢献していきます。



経営目標

経営ビジョン実現に向けて、経営目標を以下のとおり策定する。

経営ビジョン1 お客様が満足するロジスティクスの提供

経営目標と取組内容

① 地域に寄り添い、お客様のニーズにきめ細やかに対応する

- ・ お客様と意見交換を行い、ニーズに沿って対応することでお客様満足度の向上を図る **《重点》**
- ・ 継続的な業務改善やコスト意識の徹底によりコスト低減を図る **《重点》**
- ・ 定期点検の確実な履行などメンテナンスを充実し、ガントリークレーンの故障回数の低減を図る
- ・ 施設の故障・トラブルからの早期復旧を図る
- ・ 予防保全型維持管理による施設の健全性確保と長寿命化を図る

② お客様のニーズに対応するため、組織基盤を強化する

- ・ 質の高いサービスを提供するため専門性を有するスペシャリストを育成する

コンテナヤードの舗装修繕



4 質の高い教育を
みんなに



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



経営目標

経営ビジョン実現に向けて、経営目標を以下のとおり策定する。

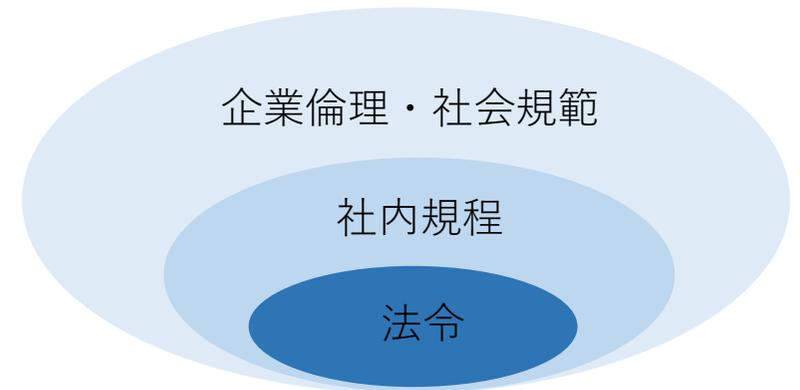
経営ビジョン2 コンプライアンス意識の徹底



経営目標と取組内容

③ 社員一人ひとりのコンプライアンス意識を高める

- ・コンプライアンスに関する事項を社員に年2回以上周知徹底する
- ・企業倫理、社会規範等に基づく社内規程を適宜更新する
- ・内部監査、外部監査及び会計監査を実施する



経営目標

経営ビジョン実現に向けて、経営目標を以下のとおり策定する。

経営ビジョン3 防災・安全対策の強化

経営目標と取組内容

- ④ 平常時の事故ゼロを目指すとともに、非常時の対応力を強化する
- ・ 港湾施設における重大事故（人身事故）ゼロを目指し、点検等を強化する
 - ・ 被災した施設の早期復旧のため、関係機関と連携した各種BCP・災害協定を更新・強化する
 - ・ 台風、地震、津波等の自然災害対応やテロ対応の各種訓練を実施する
 - ・ リスク管理委員会においてPDCAサイクルによるリスク管理を行う

ターミナル利用者との安全会議



3 すべての人に
健康と福祉を



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を



16 平和と公正を
すべての人に



経営目標

経営ビジョン実現に向けて、経営目標を以下のとおり策定する。

ヤード照明のLED化を計画

経営ビジョン4 環境重視の経営の実現

経営目標と取組内容

- ⑤ 環境性能及び経済性を充足した省エネ設備を積極的に導入する
 - ・環境にやさしい省エネ設備の積極的な導入を図る 《重点》
 - ・ヤード照明の不要な点灯を無くして利用の適正化を促進する
 - ・カーボンニュートラルポート（CNP）の取組へ協力する
- ⑥ 陸域生態系の保護及び生物多様性の損失を阻止する
 - ・管理施設における特定外来生物の定着阻止を図る



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう

経営目標

経営ビジョン実現に向けて、経営目標を以下のとおり策定する。

経営ビジョン5 物流の革新に貢献

経営目標と取組内容

⑦ 先進的な取組へ挑戦する姿勢を持ち、物流機能の向上に努める

- ・ 鍋田ふ頭での遠隔操作RTG導入に必要なターミナル施設の大規模な修繕整備を実施する
- ・ NCBコンテナターミナル岸壁改良工事へ協力する 《重点》
- ・ 飛島ふ頭南コンテナターミナル拡張工事の円滑な実施へ協力する 《重点》
- ・ 飛島ふ頭東側コンテナターミナルの効率化検討へ協力する
- ・ 飛島ふ頭南側コンテナターミナル更新検討へ協力する

飛島南コンテナターミナル拡張予定地



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



12 つくる責任
つかう責任



経営目標

経営ビジョン実現に向けて、経営目標を以下のとおり策定する。

経営ビジョン6 全社員の生きがいと夢の実現

経営目標と取組内容

⑧ 社員のワークライフバランスを実現する

- ・有給休暇、育児休暇等の取得の推進を図る
- ・職務内容に応じたテレワークや時差出勤の活用を図る
- ・風通しのいい職場環境を目指し、定期面談や一般社員の幹部会議への参加等を実施する



主な取組事業

	2022年度	2023年度	2024年度
飛島ふ頭北・南 コンテナターミナル	受電所配電盤補修（南）		
		防舷材等取替（北）・ヤード補修・ガントリークレーン修繕	
		ターミナルの効率化検討への協力・拡張用地整備調整（南）	
NCB コンテナターミナル		照明塔改修（LED化）	
		ヤード補修・照明塔塗装・第3バース棧橋補修	
		管理棟・メンテナンスショップ 補修	
		R2増深改良工事に関わる工事調整・業務受託	
飛島ふ頭南側 コンテナターミナル		ヤード補修	
		ターミナルの更新検討への協力	
鍋田ふ頭 コンテナターミナル	遠隔操作RTG導入に伴う走行路修繕（T1,T2）		
		ヤード補修	
			GC撤去（T1）
			冷凍ヤード及び危険物ヤード増設
フェリーターミナル		ヤード補修	

財務に関する計画

今期中期経営計画では、各ターミナルの多岐に渡る施設への維持修繕に係る投資が必要となりますが、効率的な経営を行うことでこれまでに確保した資金を有効に活用し、着実に事業を推進してまいります。

計画期間中の財務に関する計画は以下のとおりです。

損益計算書

単位：百万円

	2022年度（第11期）	2023年度（第12期）	2024年度（第13期）
売上高	4,523	4,339	4,543
売上原価	3,310	3,249	3,699
売上総利益	1,213	1,090	843
販売費及び一般管理費	318	317	316
営業利益	895	773	527
営業外収益	1	1	1
営業外費用	11	8	6
経常利益	885	766	522
税引前当期純利益	885	648	542
法人税等	282	200	167
当期純利益	603	448	374